排気フード対応型

ecoジョーズガス給湯器

（商業用/業務用専用）

PH-E1600GE
PH-E2400GE

取扱説明書 保証書付

このたびはecoジョーズガス給湯器〔排気フード対応型〕をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
このecoジョーズガス給湯器には保証書が付いています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

Paloma

もくじ

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について

一般的な禁止

火気禁止

接触禁止

分解禁止

必ず行う

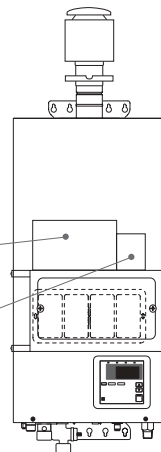
電源プラグを抜け

アースを接続せよ

お願い	ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。
（→P．XX）	参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

使用上の注意
使用上の注意について表示しています。

銘板
品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

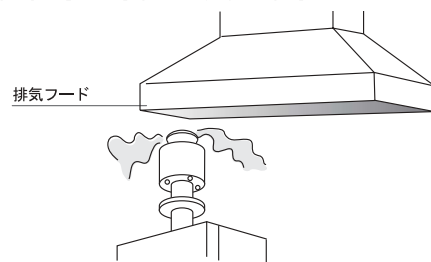
⚠危 険

ガス漏れに気づいたときは

①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
　また、メーターのガス栓も閉じる。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③最寄りのガス事業者（供給業者）
　に連絡する。

全ての処置が終わるまでの間、絶対に

・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

本体の給気フィルターの詰まり

●本体の給気フィルターにゴミなどが詰まっていないか確認する。詰まっていると不完全燃焼の原因になります。

排気フード内への設置に関する注意

●機器排気トップ部が排気フード内に完全に納まっていなかったり、外れていることに気づいたときはすぐに使用をやめ、お買い上げの販売店かお近くのパロマへ連絡する。そのまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となります。

禁 止

排気トップ部および排気筒の定期点検

●排気トップ部の変形・破損・詰まりなどがないか定期点検をする。異常なまま使用すると排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。

必ずお守りください

⚠危 険

換気注意

●換気口・給気口は常に確保し、物などで塞がない。不完全燃焼の原因となります。

●使用中は、お部屋の換気口（給気口・排気口・小窓など）は常に開けて、物などで塞がない。一酸化炭素中毒の原因となります。

警 告

排気ファン停止中は使用しない

●メインダクトの排気ファンが運転していることを確認してから使用する。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。

屋外設置の禁止

●この機器は屋内式ですので、屋外に設置しない。雨水の浸入などで、故障の原因になります。

●この機器は排気フード対応型ですので、機器の排気トップ部が排気フード内に挿入されていることを確認する。排気フード内に挿入されていないと、排気が室内にあふれ大変危険です。

機器設置および付帯工事

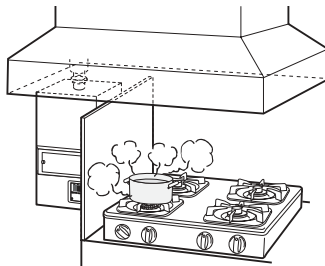
●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

アース必要

●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。

アースを接続せよ

機器・給気フィルターの付近

●やむを得ず、油煙等を発生させる燃焼機器と隣接して設置する場合は、間に仕切り板（不燃材）等有効な油煙流入防止措置をする。

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

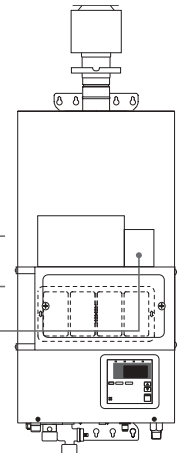
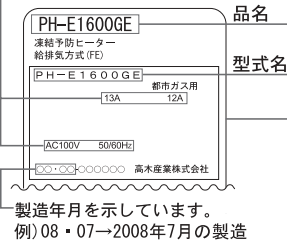
改造・分解禁止

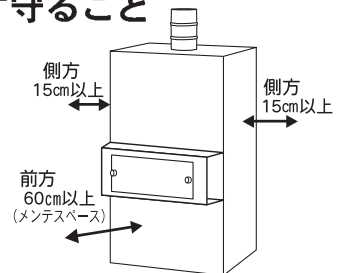
●絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は一酸化炭素中毒などの事故や故障・火災の原因となります。

分解禁止

機器の銘板を確認

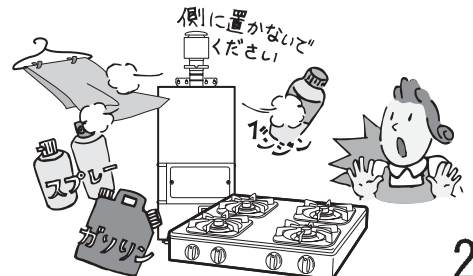
●機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用する。
ガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は（→P. 26）

火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保してください。

●機器及び排気トップ部の周囲には、紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。

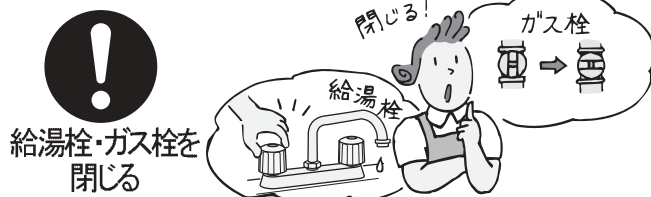
●機器周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。

●機器の周囲や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

●機器の周囲に、コンロなど他の燃焼機器がある場合は、火災の原因となりますので、間に仕切り板（不燃材）を設けるなど防火措置を行う。

必ずお守りください

⚠警 告

異常時の処置について

●地震・火災など緊急の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
●使用途中で火が消える場合または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
①ただちに使用を止めて、ガス栓を閉じる。
②「故障かな?と思ったら」（→P. 22～24）に従って処置をする。
上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店かお近くのパロマに連絡する。

ソーラーシステムと接続する場合

●ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなることがありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用する。

給湯使用時の注意

●お湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき　・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき　・機器が故障したとき
●給湯使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
●給湯使用時は出湯管（蛇口）に触らない。
思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

手で温度を確かめる

機器本体の高温部に触れない

●使用中または使用後しばらくは、排気トップ部とその周辺部には絶対に手を触れない。
やけどのおそれがあります。

接触禁止

⚠注 意

電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。
●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
●電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
●濡れた手で電源プラグを触らない。
感電のおそれがあります。

禁　止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。

用途についての注意

●給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガス栓を閉じてください。

ドレン排水口から排出される水について

●ドレン排水口から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。

水漏れに気づいたときは

●速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

お願い

市販の補助用具の使用禁止
●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●この機器専用の排気トップ部（付属品）を使用してください。それ以外のトップは使用しないでください。

本体操作部やリモコンの扱いについて
●ふろリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。本体操作部には水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないで下さい。故障の原因になります。
●本体操作部やリモコンは、いたずらに使用しないでください。

断水のとき
●断水のときは、給湯栓を閉じ、本体操作部の**運転**スイッチを「切」にしてください。

通水使用の禁止
●**運転**スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

飲用や調理にお使いのときは
●機器や配管内に長時間たまっていた水（例えば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲用や調理には使用せずに雑用水としてお使いください。

特監法対象機器
●この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。
シールが貼付していない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第６条の規定による表示	
工事事業者の氏名又は名称及び連絡先	ＴＥＬ
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び施工年月日	年　月　日

使用中の外出、就寝禁止
●火をつけたままでの外出や就寝は、絶対にしないでください。

ガス事故防止のために
●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを、本体操作部の燃焼ランプで確認してください。

運転停止（消火）時の注意
●燃焼中ガス栓を操作しての消火はしない。また、燃焼中に電源プラグをコンセントから抜いて消火しない。

電源プラグを抜かない
●お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うときや雷が発生しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意
●雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき
●落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

凍結についての注意
●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→Ｐ．１５）に従って処置をしてください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●凍結したときは「凍結してしまったとき」（→Ｐ．１８）に従って処置をして下さい。

停電時または電源プラグを抜いたとき
●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電時は給湯栓を閉じてください。
●停電または電源プラグをコンセントから抜いた状態が３０分以上続いた場合は、本体操作部の現在時刻設定を行い、表示を確認してからご使用ください。

給湯栓を閉じる

お願い

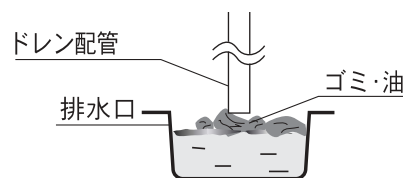
長期間使用しないときは

●「機器の水を抜く方法」（→P．16）に従って、水抜きを行ってください。
水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。

スプレー使用注意

●お湯を使用中に機器近くでシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

日常の点検　お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検、お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P．19）
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
●洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により、青く着色することがあります。日々、洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10％程度）等で拭き取ってください。
●ドレン排出配管の先からスムーズに排水されているか点検してください。ゴミや油等によって閉塞されている場合は、掃除を行ってください。また、この機器は熱効率が高いため、排水量が多くなっています。

お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●壁などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと、燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

給気について

●給気フィルター部や排気トップ部は、物などで塞がないでください。
機器は給気が十分できる場所に設置してください。給気が不十分な場所に設置すると、不完全燃焼の原因となり危険です。

機器の設置の確認

●この機器は高効率型給湯器のため、燃焼中に強酸性のドレン水が発生します。ドレン水は機器内の中和器で中和され、ドレン排水口より排水されます。ドレン排水口から排水配管がされているか確認してください。

地下水や温泉水、井戸水の注意

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

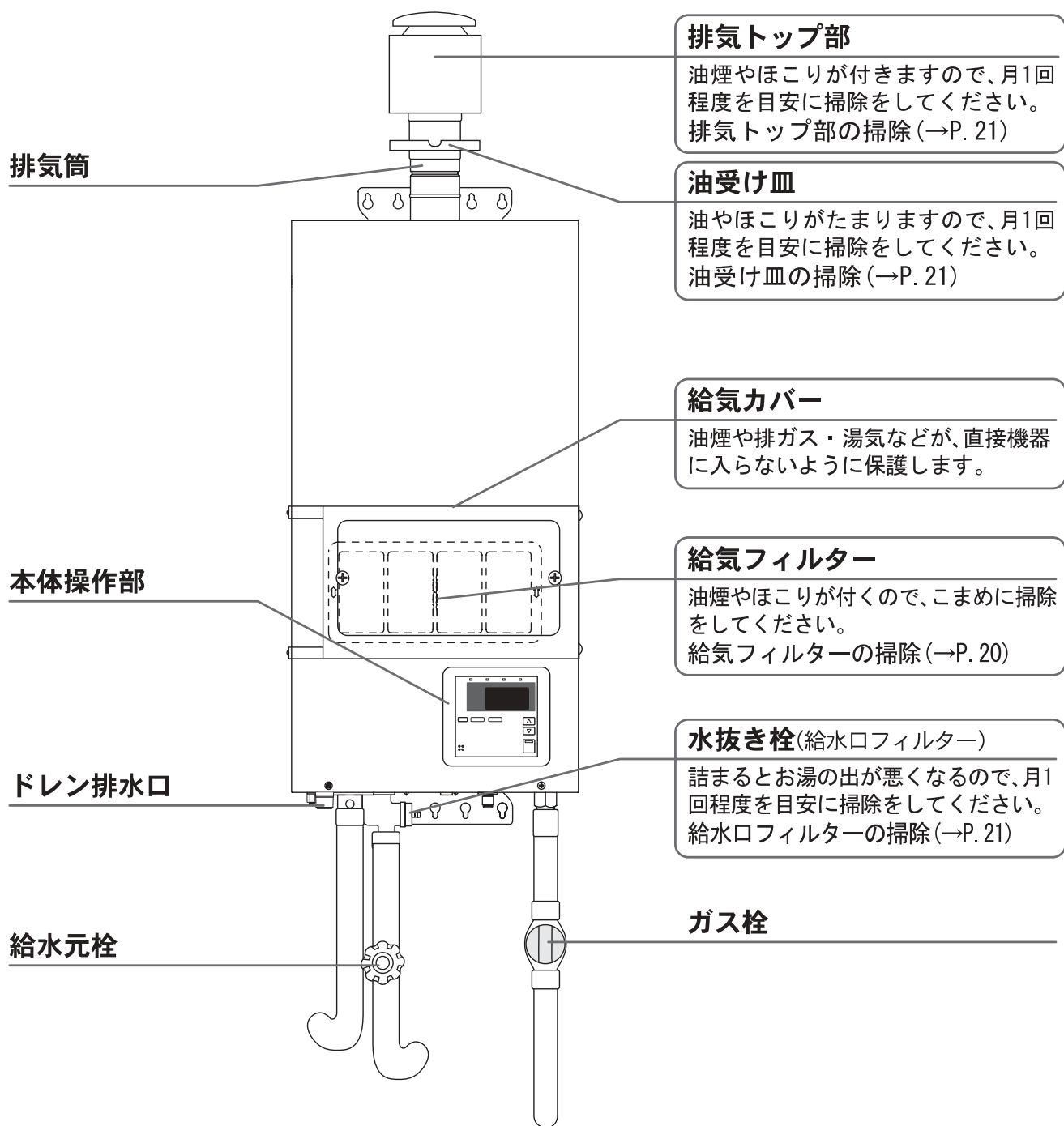
塩ビ管の使用について

●給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に、熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

油煙・ほこり

●油煙やほこりなどのたちやすい場所に機器を設置した場合は、油煙などが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となりますので、仕切板等の措置をし、給気フィルターのお手入れをこまめに行ってください。

各部の名称とはたらき

■機器本体

各部の名称とはたらき

■本体操作部

給湯温度の調節やプログラム運転などの操作ができます。

□本体操作部の表示画面

※図の画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

現在時刻表示(→P. 8)
現在時刻を表示します。

音量表示(→P. 14)
ブザーの音量設定時に1桁で音量を表示します。

プログラム時刻表示(→P. 11)
プログラム運転設定時にプログラム「入」/「切」時刻を表示します。

エラー表示(→P. 24)
機器に不具合が生じたとき、3桁でエラーコードを表示します。

給湯温度表示(→P. 9)
給湯温度を℃で表示します。

優先表示(→P. 10)
本体操作部が優先のとき表示します。

■ふろリモコン　FC-500(別売品)

給湯温度の調節や優先の切替えができます。防湿タイプなので、水回りなどに設置することができます。

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行います

点検のポイント（→P．19）をご覧ください。

2 給水元栓を全開にします

機器の下部にあります。（→P．6）

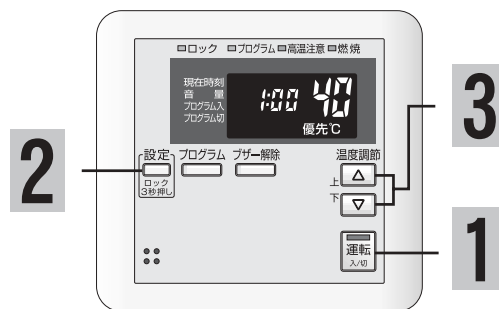
3 給湯栓を開けます

水が出ることを確認したら閉じます。

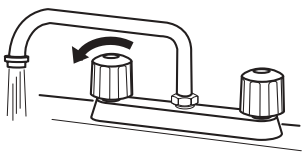
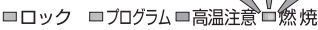
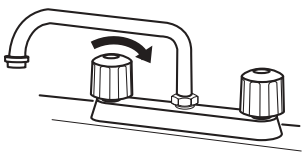
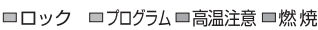
4 ガス栓を全開にします

機器の下部にあります。（→P．6）

5 電源プラグをコンセントに差し込みます

機器周辺にあります。

■現在時刻を合わせる

本体操作部の現在時刻を合わせます。
操作の方法は**運転**スイッチ「入」の状態で説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 運転（入/切）を押して「入」にします	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 1:00 40 優先℃	運転ランプが点灯し、画面を表示します。
2 設定を現在時刻の右に◁が表示するまで押します		現在時刻が点滅します。
3 上△または下▽を押して現在時刻を設定します	【例】午後1：00に設定	※現在時刻点滅中に設定を押すと、音量の設定に移ります。（→P.14）
現在時刻設定後、しばらく押し操作がないと確定します	現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切 13:00 40 優先℃	

- 現在時刻は24時間制（例：午後1：00→13：00）で表示されます。
- 出荷時の時刻表示は「1：00」になっています。停電または電源プラグを抜いた状態が30分以上続いた場合には、出荷時の表示に戻りますので、通電後時刻の再設定を行ってください。
- 現在時刻の設定は**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。

本体操作部でお湯を使う

⚠警告 ●お湯を使う前には必ず、**メインダクトの排気ファンが運転していること・給湯温度**を確かめてから使用する。

■お湯を使用する

本体操作部の**運転**スイッチを「入」にして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

操作	操作後の画面	説明
1 [運転 入/切] の点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、[運転] を押します。 ふろリモコンの場合は、給湯温度が表示していないときは、[運転] を押します。
2 給湯温度を変更する場合は[優先] の点灯を確認して 上[△]または下[▽]を押します	 【例】42℃に設定	温度変更ができない場合は[優先]の表示（ふろリモコンの場合は優先ランプの点灯）を確認します。（→P. 10）
3 給湯栓を開けます 		リモコンの燃焼ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます 		燃焼ランプが消灯します。 ※他の給湯栓が使用中のときは消えません。

⚠警告
●お湯を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。
●メインダクトの排気ファンが停止しているときは使用しないでください。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。

ご注意ください
●給湯栓を閉じても機器の燃焼ファンがしばらく回転しますが、故障ではありません。

●使い始めは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません。（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）
●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。

お湯を使うには

■給湯温度の目安

給湯温度は、標準設定または高温設定のどちらかに設定できます。
設定は、設置工事時に行いますので、給湯温度設定の内容は施工業者に確認してください。

ご使用の目安　（単位:℃）

標準設定	32　35	37　38	39　40　41　42　43	45　47	50　55　60　70　75
高温設定	―	―	―	―	60　65　70　75　80
使用用途	低温	食器洗いなど	シャワー・給湯など	給湯など	高温

工場出荷時:標準 40 ，高温 60

ご注意ください

●夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

□高温注意ランプについて

給湯温度を50℃以上に設定すると、本体操作部の高温注意ランプが点灯します。

●給湯温度は**運転**スイッチを「切」にしても記憶されています。また、一度通電が止まって再通電した場合でも、給湯温度は記憶されています。
●表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

■優先切替について

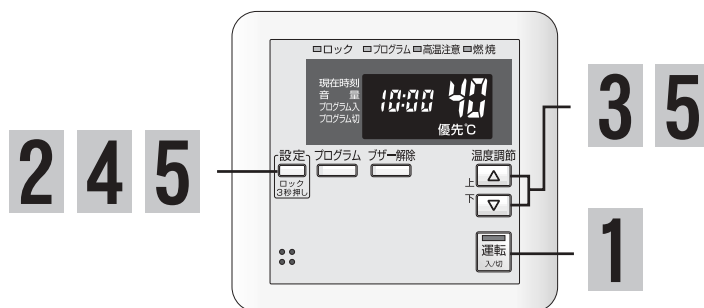
給湯温度の調節を可能にするには 優先 もしくは優先ランプの点灯が必要です。
この 優先 もしくは優先ランプの点灯を切替えることを「優先切替」といいます。

⚠警告●給湯・シャワーの使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変して、やけどのおそれがあります。

ご注意ください

●優先を切替えるときには、他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。

プログラム運転を使う

プログラム運転は、毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」をします。

■プログラム時刻の設定

プログラム運転をする前に、プログラム時刻を設定します。
操作の方法は**運転**スイッチ「入」の状態で説明します。

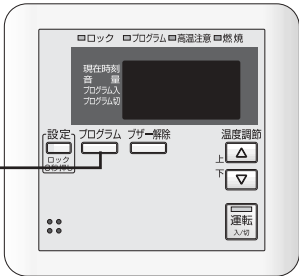
操　　作	操作後の画面	説　　明
1 運転(入/切)を押して「入」にします		運転ランプが点灯し、画面を表示します。
2 設定をプログラム入の右側に◁が表示するまで押します		プログラム入時刻が点滅します。
3 上△または下▽を押して、プログラム入時刻を設定します	【例】午前8:00に設定	
4 設定をプログラム切の右側に◁が表示するまで押します		プログラム切時刻が点滅します。
5 上△または下▽を押して、プログラム切時刻を設定します	【例】午後10:00に設定	
設定を押す、もしくはしばらく押し操作がないと確定します		

●設定したプログラム時刻は次回変更するまで記憶されます。毎回設定する必要はありません。
●プログラム時刻の設定は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。

プログラム運転を使う

■プログラム運転をする

プログラム運転を行うときは、以下のことを確認してください。

●現在時刻が合っているかを確認。（→P．8）
●プログラム運転の設定時刻を確認。

●プログラム時刻の変更は**プログラム時刻の設定**（→P．11）をご覧ください。

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 プログラム を押します 設定したプログラム時刻になると自動的に運転の「入」/「切」を行います		プログラムランプが点灯します。 ※プログラムランプを点灯した状態にしておけば、毎日同じ時間に運転の「入」/「切」を行います。
【プログラム運転「入」】 プログラム「入」時刻になると運転「入」になります		本体操作部では運転ランプが点灯し、画面を表示します。 ふろリモコンでは給湯温度を表示します。
【プログラム運転「切」】 プログラム「切」時刻になると運転「切」になります		本体操作部では運転ランプと画面が消えます。 ふろリモコンでは給湯温度が消えます。

使い方

プログラム運転「入」中に運転を停止したいときは

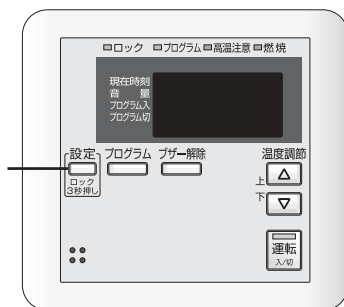
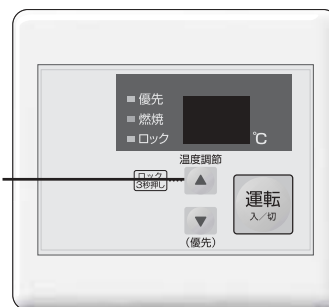
運転 入/切 を押します。運転ランプが消灯し、運転を停止します。
プログラム運転の解除にはなりませんので、プログラム運転「入」中にもう一度 運転 入/切 を押すとプログラム運転に戻ります。

■プログラム運転の解除

操　　作	操作後の画面	説　　明
1 プログラム を押します	ロック　プログラム　高温注意　燃焼 現在時刻 音量 プログラム入 プログラム切	プログラムランプが消灯します。

●プログラム運転「入」中に プログラム を押すと、プログラムランプが消えプログラム運転の解除となりますが、運転ランプは点灯したままで**運転**スイッチ「切」にはなりません。

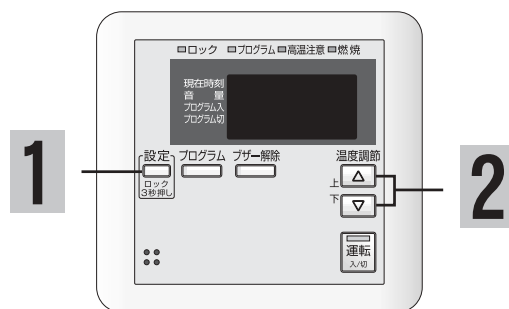
ロック機能

リモコンの誤操作防止のために、ロック機能があります。

■ロック機能の設定と解除

ロック機能の設定/解除は各リモコンで個別に行います。
操作の方法は**運転**スイッチ「切」の状態で説明します。

	操　　作	操作後の画面	説　　明
設定	**【本体操作部】** 設定を"ピピッ"と鳴るまで 3秒以上押し続けます		ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外の操作はできません。
	【ふろリモコン】 ▲を"ピピッ"と鳴るまで 3秒以上押し続けます		ロックランプが点灯します。 ※ロック中はロック機能の解除以外のリモコン操作はできません。
解除	**【本体操作部】** 設定を"ポポッ"と鳴るまで 3秒以上押し続けます		ロックランプが消灯します。
	【ふろリモコン】 ▲を"ポポッ"と鳴るまで 3秒以上押し続けます		ロックランプが消灯します。

●ロック機能の設定/解除は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。
●省電力機能(→P.14)で画面が消えているときに設定スイッチを3秒以上押し続けても、ロック機能の設定/解除は行えません。画面を表示してから、再度設定スイッチを3秒以上押し続けてください。

本体操作部のその他の機能

■ブザーの音量を変更する

本体操作部ではエラーコード表示時のブザー音の音量を変更することができます。操作の方法は**運転**スイッチ「切」の状態で説明します。

操　作	操作後の画面	説　明
1 設定 を音量の右に◁が表示するまで押します		音量が点滅します。サンプル音が流れますので、お好みの音量に設定してください。
2 上△ または 下▽ を押して、音量を変更します 変更後、しばらく押し操作がないと確定します		

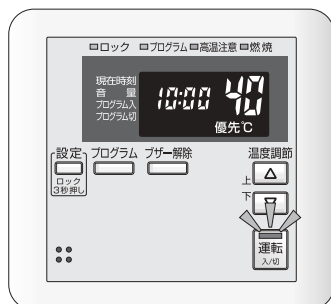
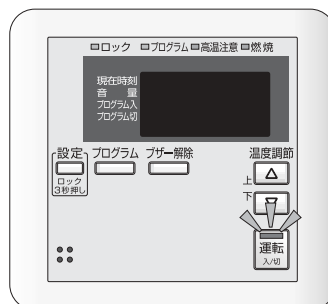
音量の目安

0（無音）	1（小）	2（中）	3（大）

3（大）：工場出荷時

- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。ただし、停電や電源プラグを抜いた場合など3０分以上通電が止まり、再通電したあとは工場出荷時の初期設定になります。
- 音量を無音に設定するとブザー音は流れません。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音"ピッピッピッ"の音は調整できません。
- 音量の変更は、**運転**スイッチの「入」/「切」に関係なく設定ができます。

■省電力機能について

5分以上スイッチ操作や給湯を使用しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。

スイッチ操作や給湯使用が5分以上ない場合

ランプの点灯はそのままですが、画面表示がすべて消えます。

ご注意ください

- 省電力機能で画面が消えている時にリモコンのスイッチを押すと、画面を表示します。
このとき、押されたリモコンのスイッチの動作は、行われません。

メモ

- 省電力機能を解除することはできません。

冬期の凍結予防をするには

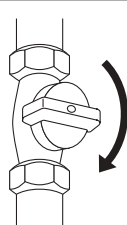
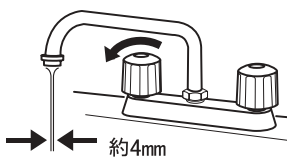
凍結を予防するための操作について説明します。

⚠注意
●暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
●凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温－15℃程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

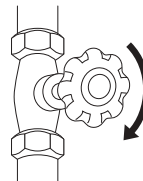
この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータがついています。
電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると、凍結予防装置がはたらきません。

・凍結予防装置は、**運転**スイッチの「入」／「切」に関係なく作動します。
・給水・給湯配管は凍結する場合があります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど、地域に応じて処置をしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

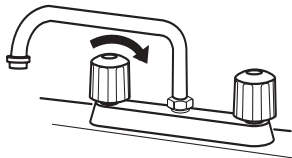
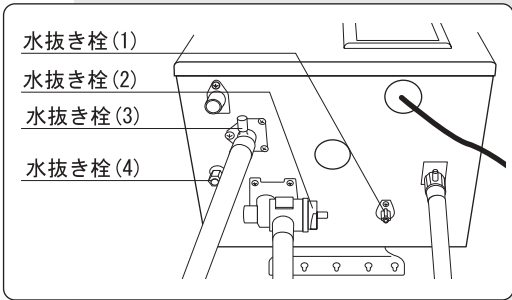
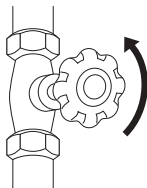
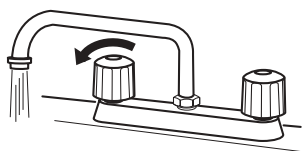
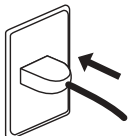
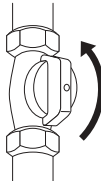
	操　作	説　明
1	運転（入/切）を押して リモコンを「切」にします （運転　入/切　押す）	必ず行います。
2	ガス栓を閉じます	
3	浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

●給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
●通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。（→P．４）
●シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

■機器の水を抜く方法

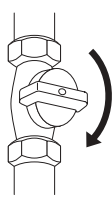
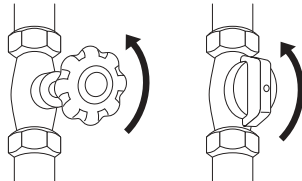
寒波などで特に寒くなりそうなときや入居前・長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

操　作	説　明
1 ガス栓を閉じます	機器の下部にあります。
2 電源プラグの抜き差しをします 15秒程待ち、再び電源プラグを抜きます	
3 給水元栓を閉じます すべての給湯栓を全開にします	
4 水抜き栓(1)(2)(3)(4)を外します **水抜き栓(4)の外しかた** 水抜き栓(4)は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込みます	
5 完全に排水したことを確認後、すべての水抜き栓を元通りに取り付けます	

お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

	操作	説明
1	水抜き栓(1)～(4)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します 	
2	給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します 	給水元栓は機器の下部にあります。
	また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します 	水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
3	電源プラグを差し込みます 	コンセントは機器の周辺にあります。
4	ガス栓を開けます 	ガス栓は機器の下部にあります。
5	本体操作部の現在時刻を設定します(→P.8)	

お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

	操　作	説　明
1	ガス栓を閉じます	機器の下部にあります。
2	給水元栓を閉じます	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3	運転 入/切 を押して リモコンを「切」にします （運転 入/切　押す）	
4	ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します 水が出てくれば使用できます	給水元栓は、機器の下部にあります。
5	給水元栓を全開にし、ガス栓を開けます	機器の下部にあります。
6	運転 入/切 を押して リモコンを「入」にします （運転 入/切　押す）	

お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の13のポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?

3 運転中に機器から異常音がしませんか?

4 機器の外観に異常は見られませんか?

5 機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6 排気トップ部は排気フード内に納まっていますか?

7 部屋の窓（給気口、排気口、小窓など）が物などで塞がっていませんか?

8 排気トップ部および排気筒の破損、外れ、詰まりはありませんか?

9 給気フィルターにゴミ、ほこりが詰まっていませんか?

10 給気フィルターの変形、破損はありませんか?

11 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか?

12 給気フィルターが物などで塞がれていませんか?

13 燃焼中、ドレン水がドレン排水口からスムーズに排水していますか?

■定期点検のおすすめ（有料）

●機器を安心してより長くご使用いただくために、1 年に1 回程度点検を受けることをおすすめします。
点検はお買い上げの販売店かお近くのパロマへご相談ください。

■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

●汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。

⚠警告 ●フロントカバーを外したり、本体操作部やリモコンを分解したりしない。

分解禁止

ご注意ください

●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
●本体操作部には水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、ふろリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

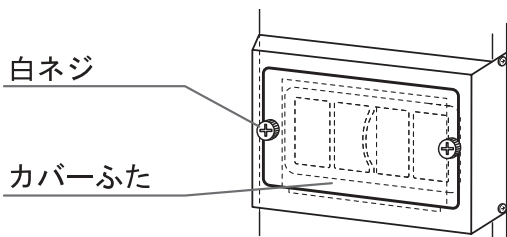
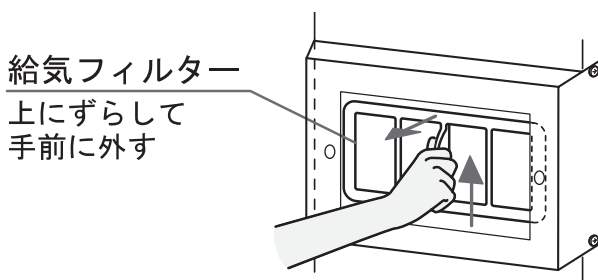
点検のポイント・お手入れのしかた

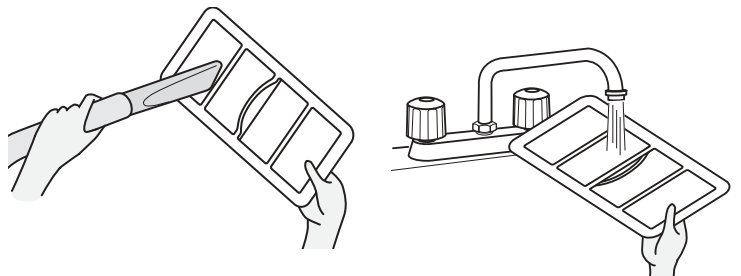
■給気フィルターの掃除（こまめに掃除）

給気フィルターはこまめに掃除してください。給気フィルターに油煙やほこりが詰まると、本体操作部にエラーコード“051”（ふろリモコンには“05”）が点滅表示し、ブザーが鳴ります。ブザーの停止は、本体操作部のブザー停止スイッチを押して行ってください。

□給気フィルターの外し方

1 **運転**スイッチを押して運転を「切」にします

2 白ネジをゆるめて、カバーふたを外します

3 上にずらして手前に引くとフィルターが外れます

□給気フィルターを掃除する

1 ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします
油汚れのひどいときは、台所用中性洗剤で洗ってください

2 元通りに取り付けます

給気フィルターが濡れている場合は、よく乾かしてから取り付けてください。

運転スイッチを「入」にして、再使用してください

給気フィルターがきちんと装着されていないときは、機器を使用することができません。

※**運転**スイッチを「入」にしたとき本体操作部にエラーコード“051”が点滅します。
運転スイッチを「切」にして、再度装着し直してください。

ご注意ください

お願い

- 給気フィルターのお手入れの際には、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。
- ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。
- 給気フィルターを外したまま使用したり、濡れたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。
- 給気フィルターの掃除回数は使用場所により異なります。汚れてきたら掃除してください。

※給気フィルターが変形・破損したときには、お買い上げの販売店でお求めください。

点検のポイント・お手入れのしかた

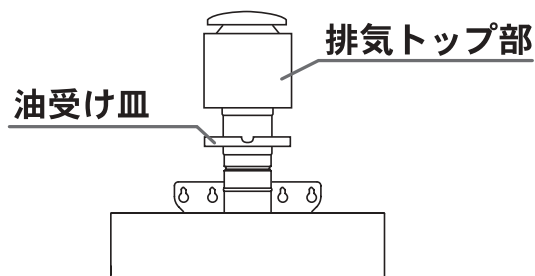
■排気トップ部・油受け皿の掃除（月1回程度）

排気トップ部・油受け皿は定期的に掃除してください。油煙やほこりで汚れたままにしておくと、機器の故障の原因になります。

※月1回程度を目安としますが、頻度は設置状況により異なります。

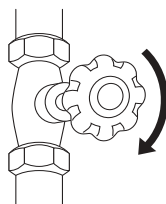
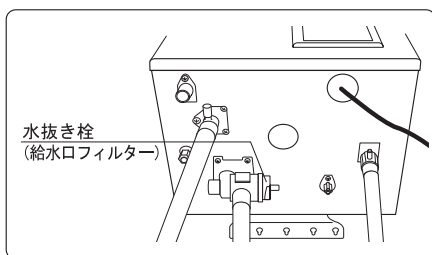
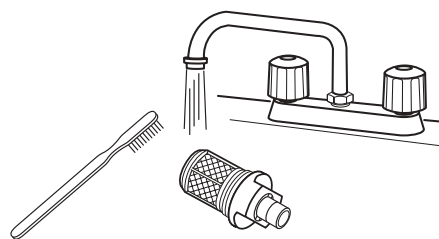
1 運転スイッチを押して運転を「切」にします

2 排気トップ部・油受け皿を掃除します

ほこりや油がたまっているときは布などで拭き取ってください。

お願い ●排気トップ部内部のセンサーは外さないでください。外したりすると、故障の原因となります。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に新築などの場合）

1 給水元栓を閉じる

2 給水接続口にある水抜き栓を外す

3 歯ブラシなどで洗う

4 元のように取り付ける

お願い ●給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、機器が正常に作動するか確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

故障かなと思っても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき	ここを調べてください
リモコンの画面に表示が出ない	省電力機能中ではありませんか (→P.14) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.8) 停電していませんか (→P.4)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない 運転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.8) 停電していませんか (→P.4) ガス栓が全開になっていますか (→P.8) 給水元栓が全開になっていますか (→P.8) 断水していませんか (→P.4) 給湯栓が十分開いていますか (→P.9) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.21) 凍結していませんか (→P.18)
高温のお湯が出ない	温度調節は適切ですか (→P.9) ガス栓が全開になっていますか (→P.8) シングルレバー混合栓やサーモスタット混合栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を最高温に設定してください
低温のお湯が出ない	温度調節は適切ですか (→P.9) 給湯栓が十分開いていますか (→P.9) 給水口フィルターが詰まっていませんか 給水元栓が全開になっていますか
エラーコード「941」「991」が点滅し、動作しない	メインダクトの排気ファンが運転していないと不完全燃焼となり自動的に機器を停止します メインダクトの排気ファンを運転させてから使用してください (→P.24)
運転中に機器から異常音が聞こえる	点検依頼をしてください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

■こんなときは故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約 3.0ℓ/分以下になったときには、消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開けて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
冬期水温が低いとき高温のお湯が出ない	冬期など、水温が低いときに高温のお湯を得ようとするときは、出湯量を少なめにして使用してください。出湯量を多くすると熱いお湯が出ない場合があります。
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したりすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために、自動的に湯量調整をしています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
給湯栓を閉じると、水抜き栓から一瞬水が漏れる	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給水側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために水が出る場合があります。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた状態が30分以上続いた場合の再通電時には、時刻表示が「1:00」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.8)

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

故障かな?と思ったら

■エラー表示について

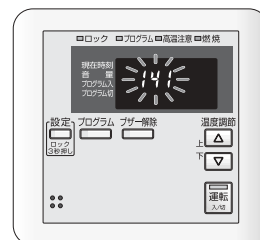
- ●機器に不具合が生じたとき、その原因に応じてエラーコードの点滅表示とブザー（ふろリモコンはブザーが鳴りません）でお知らせし、自動的に運転を停止します。
- ●ブザーは本体操作部の［ブザー解除］を押して解除します。（エラーコードの点滅表示は解除されません）
- ●エラーコードが表示点滅したときは不具合の内容と表示されているエラーコードをお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。

エラーコード	原因	処置
111	点火不良	ガス栓が全開であることを確認後（リセット操作） ↓ それでもエラーコードがでるときは、修理を依頼する
121	失火	
141	元ガス電磁弁駆動回路異常	
311	熱交温サーミスタ断線･短絡	
321	入水温サーミスタ断線･短絡	
331	混合温サーミスタ断線･短絡	
341	排気温度サーミスタ断線・短絡	
381	能力不足警告	
510	元ガス電磁弁故障	
511	ガス電磁弁故障	
611	ファン回転異常	
651	水量制御弁故障	
661	バイパス弁故障	
701	制御基板異常	
711	ガス電磁弁駆動回路故障	
721	プリ･ポスト異常	
741	本体操作部通信異常	
751	ふろリモコン通信異常	

エラーコード	原因	処置
031	温調選択ミス	修理を依頼する
051	フィルター清掃警告	フィルターを清掃後、正しく装着（→P. 20）
291	中和器詰まり	修理を依頼する
381	COセンサ異常	機器の燃焼累計時間が9,000時間を超えました しばらくは使用できます（エラーコードは消えません）が、COセンサの寿命のため、早めに修理を依頼する
391	フレームロッド断線	修理を依頼する
921	中和器交換警告（使用可能）	
931	中和器交換警告（使用不可）	
941	排気温度サーミスタ異常検出	メインダクトの排気ファンが運転していることを確認し、さらに窓やドアを開け部屋の換気を行った後（リセット操作） ↳ それでもエラーコードがでるときは、修理を依頼する
991	燃焼異常装置作動	

（リセット操作）［運転 入/切］または［運転 入/切］を一度「切」にし、5秒以上経過してから［運転 入/切］または［運転 入/切］を「入」にする。

〔本体操作部〕

エラーコードの点滅表示とブザーが鳴ります。
ブザーは［ブザー解除］を押して解除します。

〔ふろリモコン〕

簡易表示のため、エラーコードの上位2桁を点滅表示します。

ご注意ください

●エラーコード“921”“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。
エラーコード“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのエラーコードは点滅したままです。点滅中はリモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
エラーコード“931”では機器の使用はできません。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容	
品名			PH-E1600GE	PH-E2400GE
型式名			PH-E1600GE	PH-E2400GE
外形寸法(mm)/質量(kg)			幅370×奥行290×高さ630/30	
種類	給湯方式		先止め式	
	設置方式		屋内設置壁掛形〔排気フード対応型〕	
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	
水圧	使用水圧		100～800kPa(1.0～8.0kgf/cm²)	
	最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm²)	
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ	
	給水		15A(R1/2)オネジ	20A(R3/4)オネジ
	給湯		15A(R1/2)オネジ	20A(R3/4)オネジ
	ドレン排出口		15A(R1/2)オネジ	
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)	
	リモコン側		DC24V以下	
	消費電力	待機時	4.6W(4.2W:COセンサー分を除く)	
		定格	58W	76W
		凍結予防時	129W	
	電源コード		VCT(2心)機外長2.0m	
安全装置			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ) 排気温度異常検出装置(サーミスタ) 立消え安全装置(フレームロッド方式) 過圧防止安全装置(スプリング式)	誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 空だき防止装置(水量センサー) 空だき安全装置(バイメタル式) 異常燃焼検出装置(COセンサー) 過熱防止装置(温度ヒューズ)

〔能力表〕

品名	使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/分)		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
PH-E1600GE	都市ガス	13A	30.2kW{26,000kcal/h}	16.0	10.0	15A(R1/2)
		12A	28.1kW{24,180kcal/h}	14.9	9.3	
	LPガス		30.2kW{2.17kg/h}	16.0	10.0	

品名	使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	出湯能力(最大時)(ℓ/分)		ガス接続
				水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
PH-E2400GE	都市ガス	13A	44.0kW{37,840kcal/h}	24.0	15.0	15A(R1/2)
		12A	40.9kW{35,170kcal/h}	22.0	14.0	
	LPガス		44.0kW{3.15kg/h}	24.0	15.0	

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2.0kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

●「故障かな?と思ったら」(→P. 22～24)を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 現象(できるだけ詳しく)
3. 型式名(銘板表示のもの)
4. ご購入日・ガス種
5. 道順

★なお、修理のご依頼は、【電話】 0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北33条西7丁目1－1	011-726-2822	011-736-7374
東北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館20－10	022-239-1848	022-238-0838
関東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3－1－6藤枝ビル6階	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6－23	052-824-5188	052-824-5670
近畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋3丁目8－12	082-262-8341	082-263-2400
九州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2－9－13	092-472-0924	092-471-8400
受付時間	平日 9:00～18:30 土曜日・日曜日・祝日 9:00～17:00(修理受付のみ)		

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

保証について

●この潜熱回収型ガス給湯器には保証書が付いています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後7年です。
ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は水抜きの操作をしてください。(→P. 16)

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店かお近くのパロマへお問い合わせください。

パロマお客様相談室　〒467-8585 愛知県名古屋市瑞穂区桃園町6番23号　TEL 052-824-5145

保 証 書

潜熱回収型ガス給湯器〔排気フード対応型〕	品　名	PH-E1600GE	PH-E2400GE

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
(ハ)公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
(ニ)特殊な用途（例えば、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
(ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(ヘ)消耗部品の取替えおよび保守等の費用
(ト)本書の提示がない場合
6．本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
7．本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　　　　　　　様	保証期間	お買い上げ　　　年　　月　　日から１年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL　052（824）5145

修理記録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。